

ビフォー
アフター

3年生0学期

出願書類作成用 調査用紙

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、3年生1学期を前に、出願書類作成や3年生の担任に連携するための「出願書類作成用 調査用紙」について検討する。

検討会メンバー



宮崎県立
延岡星雲高校
柳井健二
やない・けんじ

教職歴24年。同校に赴任して8年目。教務主任。英語科。「音楽にはなれないが、スポーツライク係となつて、個々のよさを照らしたい」



埼玉原立
春日部高校
岡本眞一郎
おかもと・しんいちろう

教職歴34年。同校に赴任して3年目。進路指導部。英語科。「教師は生徒につくられる」「失敗は素晴らしいことの始まりかもしれない」



岡山県・私立
岡山中学校・高校
鷺見香織
すみ・かおり

教職歴17年。同校に赴任して12年目。高校3学年主任。国語科。「人に優しく、己に厳しく、勉強はためみなく」

検討

自己の成長を振り返らせることで、
自信を持って3年生を迎えさせたい



柳井 この用紙は、3年生の担任が出願書類を作成する際の参考資料とするため、生徒に書かせています。また、模試の機会も少なく、中



鷺見 私も、出願書類作成のため、3年生1学期に同様の取り組みをしたことがあります。その際は、

部活動や行事で務めた係など、事実関係の確認がほとんどでしたが、柳井先生の学校のものは、頑張ったことなどを文章で書かせている点が良いと思えました。でも、書けない生徒もいるんですね。



岡本 学年が上がるほど、こうした志望調査や生活調査を受ける機会が増えます。ただし、「事実を確認するための調査」と「生徒の内面に近づくための調査」では、生徒は受け止め方が異なるでしょうから、

何を目的としたものなのかを、明確に伝えることが重要です。

柳井 いろいろな項目を設けすぎてしまったために、生徒は肝心の「これを書くことで自分にどんな成長がもたらされるのか」が分からなくなり、書こうという気持ちが湧きづらくなっているのかもしれない。受験生になることを間近に控えた生徒の気持ちを、盛り上げられるものにしたいです。

岡本 出願書類作成のための事実確認も確かに重要ですが、3年生の担任とのコミュニケーションツールとして、また、大学への志望の度合いを確認する機会としても機能しているということも、生徒に明確に伝えたいですね。3年生の担任に自分のことを分かってもらい、目標を共有した状態で受験生としての4月をスタートできるのは、大きなアドバン

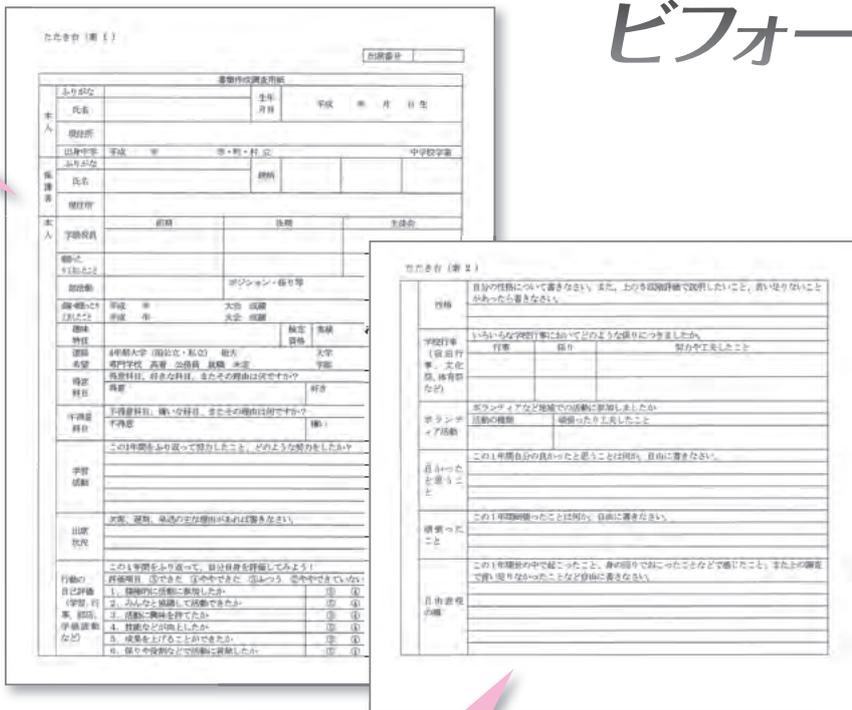
宮崎県立延岡星雲高校 柳井健二先生 3年生0学期「出願書類作成用 調査用紙」

1枚目は、3年生の担任が出願書類を作成する際に役立つ情報を中心に記入する。ホームルームの時間で記入する場合もあるが、学年やクラスによっては家庭で記入し、提出することもある。

ねらいと機能

出願書類作成に必要な基礎情報を調査

3年生の担任が調査書を始めとする出願書類を作成する際に、基本事項を確認するための調査として、生徒に記入させている。使用する時期は教師によって異なるが、2年生2月～3年生4月が中心だ。また、書かれた内容のどの部分に注目し、声かけするか、それぞれの教師に任せられているのが現状である。



ビフォー

2枚目は、これまで頑張ったことやよかったことを中心に記入する。ただ、記入の見本や観点を提示していないためか、欄がすべて埋まらない生徒もいる。

課題と解決策

- 3 生徒が受験生になるにあたって、自分の長所や得意なこと、目を向けさせ、自信を引き出す内容にする。
- 2 3年生の担任とのコミュニケーションを、より円滑なものにすることを意識する。
- 1 生徒が、何のために書いているのかを意識できるものにする。

テージです。
驚見 3年生にとって一番困難なことは、受験生としての1年間、自分の可能性を信じ、ひたむきに努力を続けることです。3年生になった途端、自信を失いそうになる機会が一気に増えていきますから、**3年生0学期のうち、自分の武器になる長所や得意なことを意識させておきたい**です。
岡本 3年生になる前に、志望大学について何をどの程度理解しているかを、教師が確認しておくことも大切ですね。多忙なこの時期、一人ひとりと面談を行うのは難しいですが、入試科目を知らないなど、明らかに情報不足の生徒には個別に声かけできますから。

学校プロフィール

宮崎県立延岡星雲高校

◎全日制/普通科 フロンティア科/共学 /1学年約200人
 ◎2016年度入試合格実績(現役のみ) / 国立大は、長崎大、熊本大、宮崎大などに23人が合格。私立大は、明治大、立教大、同志社などに延べ118人が合格。

埼玉県立春日部高校

◎全日制・定時制/普通科 男子/1学年約360人
 ◎2016年度入試合格実績(現役のみ) / 国立大は、北海道大、東北大、東京大、京工業大、一橋大などに78人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、東京理科大、早稲田大などに延べ381人が合格。

岡山県・私立岡山中学校・高校

◎全日制/普通科/共学/1学年約150人
 ◎2016年度入試合格実績(現浪計) / 国立大は、北海道大、東京工業大、大阪大、岡山大、九州大などに42人が合格。私立大は、上智大、早稲田大、同志社大などに延べ111人が合格。

検討会で明らかになった課題を踏まえ「出願書類作成用調査用紙」を改良! 次ページで紹介します。

アフター

秘 本人・保護者・担任以外は見ません。

期・出席番号 3年生 組 番 ← 期・出席番号 2年生 組 番
2017年10月1日現在 学年担任 先生

■ 事実の確認

本人	ふりがな		生年 月 日	平成 年 月 日
	氏名			
	現住所	〒		
保護者	ふりがな		職所	
	氏名			
	現住所	〒		

■ 3年生の担任先生への自己紹介① —— これまでの高校生活を振り返って
 自分の好きなこと、得意なこと、楽しかったこと、頑張ってきたことなど、これまでの高校生活について、3年生
 伝えたいことを、次の選択肢1～9から選ぶことで、自由に記入してください。

1. 趣味・特技、熱中していることについて	2. 部活動について	3. 学校行事や校外活動について
4. 学級委員・生徒会活動について	5. 教科の勉強について	6. オンライン活動や地域活動について
7. 友人について	8. 家庭について	9. その他

番号 ()

番号 ()

希望 ()

全体が「事実の確認」「振り返り」「希望進路」の3つで構成されていることが分かるようにした。「振り返り」は「3年生の担任先生への自己紹介」として、まずは自分が高校生活の中で肯定的に捉えていることから書かせて、自信を引き出すようにする。

「希望進路」も、「3年生の担任先生への自己紹介」として書かせる。また、入試科目のチェックやオープンキャンパスへの参加が済んでいない生徒を把握し、個別の声かけへとつなげていく。

秘 本人・保護者・担任以外は見ません。

■ 3年生の担任先生への自己紹介② —— 希望進路や将来の目標について
 今まで考えてきた将来のことについて、3年生の担任の先生に伝えたいことを記入してください。

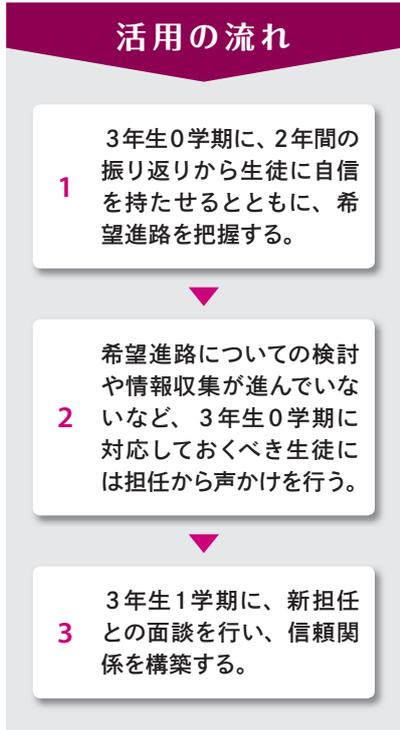
希望進路	4年制大学 / 短大 / 専門学校 / 就職 / その他
学習分野	人文科学 / 社会科学 / 理学 / 工学 / 農学 / 保健 商学 / 家政 / 教育 / 芸術 / その他
学校・学部名	
上記の学校の入試科目・配点のチェック	未 / 済
上記の学校へのオープンキャンパスへの参加	未 / 済

進路希望先
 の地区区分 北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州地方 / その他

保護者の意向は、本人の希望進路と 同じ / 異なる / 分からない

叶えたい将来の目標や夢について

※その他、3年生の担任先生に伝えておきたいこと
 悩んでいることや不安に思っていること、心配なこと、克服しなければならぬと思っていることなど、3年生の担任の先生に伝えておきたいことを記入してください。



また、「ボランティア活動や校外活動の表彰歴、資格取得などの情報、さらには困った時の相談相手なども書かせたい」などの意見も出された。実際の運用にあたっては、項目は学校や担任によって柔軟に変えていくことが望ましいだろう。

「何を、何のために書くのか」を生徒に伝えるため、調査用紙が「事実の確認」「振り返り」「希望進路」の3つの観点で構成されていることが分かるようにした。「振り返り」「希望進路」を3年生の担任に向けて書かせるのは、進路選択やそれに伴う自己分析に本格的に取り組む時期が来たことを生徒に自覚させるねらいもある。さらに、3年生の担任とのコミュニケーションを促進するため、生徒がそれぞれ書きやすい項目を選べるようにした。そうすることで、記入スペースが埋めやすくなり、3年生の4月を前向きに迎えさせることができるという配慮でもある。

改訂後のねらいと機能
 何を書くのかを
 生徒に分かりやすく示す



柳井 書き手にとって、誰に向けてのものなのか、相手はつきりすることは重要ですね。行事の振り



岡本 「3年生の担任への自己紹介」という設定にしたことで、誰に向けて、何のために書くのが明確になり、生徒も取り組みやすくなるはずです。また3年生の担任も、今まで以上に興味を持って読めるのではないのでしょうか。



柳井 本校では、3年生0学期という言葉は生徒にも定着していません。3年生0学期は、受験生になる前に自分自身を前向きに振り返り、長所や成長を確認すること

活用

3年生の担任に向けて語りやすいテーマで、肯定的に自己開示させる

返りなどでも「後輩に向けて書こう」と呼びかけると、生徒の真剣さがぐっと増します。

岡本 2年間の高校生活で頑張ってきたこととして何を語りたいかは、生徒によって様々でしょう。特に、推薦・AO入試の志願者が多い高校の場合は、自由に自分の成長を振り返らせた方が、志望理由書での自己アピールの軸が見つけやすくなると思います。今回の改訂版では、書きたい項目を選択式にしていますので、「自分が書けること、書きたいことを書けばよい」と前向きに取り組めるはずで、記入欄の大きさの割合も、生徒に自由に決めさせてもよいかもしれません。

柳井 志望理由書や面接で何をアピールするのかは、生徒が自分自身で納得して決めないと、大学にも説得力を持って伝え



られませんからね。
驚見 長所や得意なことだけでなく、苦手なことや不安といった要素も適度に引き出したいですね。以前、生活調査で生徒に「何が自分の勉強の邪魔になっているか?」と尋ねたところ、生徒はスマートフォン、進路の迷い、家族とのトラブルなどいろいろなることを挙げてきました。日々の生活でうまくいかないことの1つや2つは、誰もが抱えているものです。後ろ向きにならない程度に、自分の弱みに向き合うことができる設問にすることが大切です。3年生の担任も「本人が何を抱え、何を頑張っているのか」を知っておくこと

で、生徒一人ひとりに合った声かけができるのではないのでしょうか。
柳井 3年生の担任が出願書類作成に取り組む時、心にあるのは「生徒のよいところをきちんと記載して、少しでも合格の可能性が高まるようにしたい」という思いです。だからこそ、生徒に高校生活を振り返らせたり、志望を語らせたりする時も、生徒と教師が一緒に「よいところ」を引き出せる指導ツールを使いたいものです。多忙な中であっても、教師と生徒をつなぎ、生徒の気持ちを前向きにするような指導ツールを、今後も追究していきたいと思

改良したいのに、 どうすべきか分からない…… 指導ツールを募集しています!

◎「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールをより効果的に使用する指導法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

必要事項①～④をご入力の上、
指導ツールを添付して

下記のe-mailアドレスにご送信ください

- ① 学校名・お名前
- ② 分掌・ご教職歴
- ③ ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ ツールに対する課題意識、改善要望

✉ view21_since-1975@mail.benesse.co.jp